

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering Studies)		
ナンバリングコード	R40403	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 総合レベル
単位数	10	配当学年 / 開講期	1年 / 通年
必修・選択区分	必修		
授業コード	M522001	クラス名	菅研究室
担当教員名	菅 雅幸		
履修上の注意、 履修条件	特にありません。 指導を受けるときだけでなく、普段から取り組み重要です。しっかりと取り組んでください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	修士論文に関わる文献等		
関連科目	環境情報学特別演習Ⅰ、環境情報学特別演習Ⅱ		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	修士論文を作成するにあたり、「大都市沿岸域における地域構造の変化に関する研究」テキストを基に、地域分析の意義、手法を学修します。これにより、どのような資料収集、分析ソフトを使って、データ解析を行っていかの指導を行っていきます。 修士2年次の9月に発表予定の、日本建築学会大会研究発表会の発表へ向けて、論文を作成し、3月にその概要投稿を目標とします。翌年の3月に発表予定の日本建築学会九州支部研究発表会の発表へ向けて、論文を作成し、12月にその概要投稿を目標とします。
授業の概要	「大都市沿岸域における地域構造の変化に関する研究」の作成方法を学修することによって、研究の方向性を検討して行きます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 調査学習 他
地域志向科目	カテゴリーⅢ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
実務経験のある教員による授業科目	菅 雅幸 本授業の設計に関する実務経験として設計事務所設計業務に従事。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	主体的に研究を遂行する。			20点
【知識・理解】	研究発表用の論文作成。		40点	
【技能・表現・コミュニケーション】	学会で研究発表を行い、質疑応答に適切に対応することができる。		20点	
【思考・判断・創造】	実現が困難なことに対して粘り強く対応できる。 研究活動全般に対して、異なる視点から判断、微調整することができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
提出する修士論文が適格であると判断できる内容の場合、合格とする。ただし、評価判定については、総合的な判断に基づく。

○その他

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering 授業コード:M522001 担当教員：菅 雅幸
<b>学修内容</b>	
<b>1. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>2. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>3. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>4. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>5. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>6. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>7. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>8. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)

○授業計画	科目名：環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering 授業コード:M522001 担当教員：菅 雅幸
<b>学修内容</b>	
<b>9. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>10. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>11. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>12. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>13. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>14. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>15. 修士論文作成</b> 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)
<b>16.</b>	
予習:	(約2.0h)
復習:	(約2.0h)